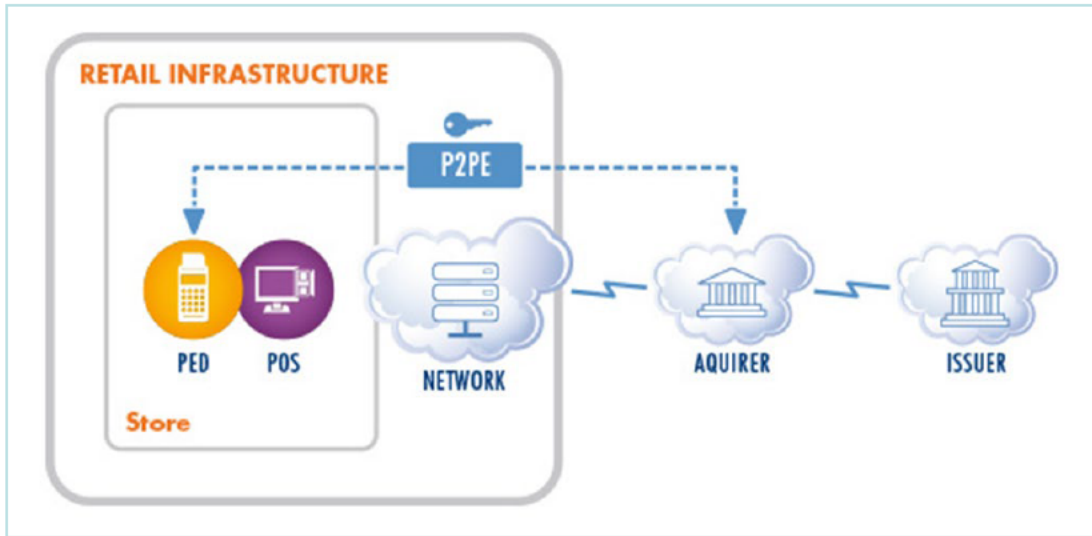


# PCI P2PE オンサイト評価のご紹介

## P2PE (Point-to-Point Encryption) とは？

P2PE は Point-to-Point Encryption を略したものであり、**伝送中のカード会員データが常に暗号化されている**ことを意味します。

カード会員データの読み取り装置から決済処理を行うポイントまで、End to End でカード会員データを暗号化するという考え方をベースにしています。



## PCI P2PE の対象について

PCI P2PE への準拠は、**P2PE ソリューションを提供するソリューションプロバイダ**が対象となります。加盟店やその他のサービスプロバイダが認証を受ける必要はありません。

また、P2PE ソリューションを構成する要素として、P2PE コンポーネント（暗号化管理サービス、復号管理サービス、鍵管理サービス）があり、これらも独立して認定を受けることが可能です。

BBSec は国内でも数少ない PCI P2PE 認定評価機関として、**P2PE QSA によるオンサイト評価**を実施致します。

## PCI P2PE 準拠に必要なもの

PCI P2PE に準拠するためには、**PCI PTS に準拠した POI デバイス**、及び **PCI PTS あるいは FIPS に準拠した HSM** が原則的な構成です。

要件は 5 つの大きなドメインと、1 つの付属書によって構成されており (PCI P2PE v3.0)、各ドメインの要件を満たすことが求められます。

# PCI P2PE オンサイト評価のご紹介

## PCI P2PE 準拠のメリット

加盟店はPCI P2PE 準拠ソリューションを利用することで、約 400 件ある PCI DSS の要求事項を 35 件までに減らすことが可能です。  
そのため、**PCI P2PE 準拠ソリューションは加盟店の PCI DSS 準拠に係る負荷を大幅に軽減できる**として、近年非常に注目が高まっています。  
また、P2PE に準拠すると **PCI SSC の Point-To-Point Encryption Solution リストに掲載される**ため、加盟店への訴求効果も高めることが可能です。

## PCI P2PE オンサイト評価の概要

- 準拠基準  
Payment Card Industry Point-to-Point Encryption Ver3.0
- 評価対象  
P2PE ソリューション、P2PE コンポーネント、P2PE アプリケーション
- 評価項目  
全 6 ドメイン (+付属 2 ドメイン)
- 評価手法  
①インタビュー ②現地視察 ③システム・機器などの実機確認  
④文書・記録類の確認 ⑤準拠レポート (P-ROV) 作成  
※適宜サンプリングを実施する。
- 準拠認定証明  
準拠認定証明書 (P-AOV) の発行、準拠認定証明ロゴマークの使用許諾

■ まずは御相談ください。お問合せはこちら。

 **03-6433-3116** (受付時間 平日9:30~17:00)  
mailto:Consulting-Sales@bbsec.co.jp



株式会社ブロードバンドセキュリティ



■ 本 社  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-5-1 野村不動産西新宿共同ビル4F TEL:03-5338-7425 FAX:03-5338-7427  
URL :<http://www.BBsec.co.jp/>